

第 22 回通常総会

2016 年 3 月 8 日（火）

言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

第 22 回通常総会次第

日時 2016 年 3 月 8 日 (火) 12 時 20 分～13 時 20 分

会場 東北大学 川内北キャンパス 講義棟 B201

総会次第

第 1 号報告 2015 年度事業報告

第 1 号議案 2015 年度決算報告

第 2 号報告 2015 年度監査報告

第 3 号報告 2016 年度事業計画

第 4 号報告 2016 年度予算案

第 2 号議案 理事の選任

第 3 号議案 監事の選任

第 5 号報告 2016 年度代議員構成

以上

第1号報告

2015 年度事業報告

1. 概要

予定通り 2015 年 4 月に言語処理学会の一般社団法人化を完了いたしました。言語処理学会の主要活動として、論文誌「自然言語処理」の発行および年次大会の開催を計画通りに進めました。「自然言語処理」に関しては、特集号を含め 5 号を発行しました。第 21 回年次大会は、2015 年 3 月 16 日(月)から 21 日(土)まで、京都大学で開催しました。

2. 会員現況

正会員	778 名 (+7)
学生会員	97 名 (-4)
賛助会員	11 組織 (+1), 12 口 (+1)
特殊購読会員	38 組織 (-3), 45 口 (-1)

(2015 年 12 月 31 日現在, 増減は 2014 年 12 月 31 日との比較)

なお, 定款第 11 条 1 項 2 号にもとづき, 会費を 1 年以上滞納した会員 58 名(正会員 29 名, 学生会員 29 名)については, その会員資格を喪失したものと扱います。

3. 会誌の発行

- 22 卷 1 号(2015 年 3 月発行, 通巻 99 号)
巻頭言, 論文 2 編, 会告
- 22 卷 2 号(2015 年 6 月発行, 通巻 100 号)
巻頭言, 論文 2 編, 会告
- 22 卷 3 号(2015 年 9 月発行, 通巻 101 号)
巻頭言, 論文 3 編, 会告
- 22 卷 4 号(2015 年 12 月発行, 通巻 102 号)
巻頭言, 論文 3 編, 会告
- 22 卷 5 号(2015 年 12 月発行, 通巻 103 号)
巻頭言, 論文 4 編, 会告

4. 第 21 回年次大会の開催

- ◇ 開催日: 2015 年 3 月 16 日(月)～3 月 21 日(土)
- ◇ 会場: 京都大学(京都府京都市)
- ◇ プログラム

[チュートリアル講演](4 件) 3 月 16 日

杉山 将 氏(東京大学)

「密度比推定に基づく汎用的な機械学習技術」

田 然 氏(東北大学)

「自然言語を意味表現に変換する手法と展望」

藤波 進 氏(株式会社サイバー創研)

「言語データベースの制作公開と著作権」

Graham Neubig 氏(奈良先端科学技術大学院大学)

「国際会議論文の読み方・書き方」Kevin Duh 氏(奈良先端科学技術大学院大学)

[招待講演]

安宅 和人 氏(ヤフー株式会社) (3 月 17 日)

「Yahoo! JAPAN におけるビッグデータの活用とその舞台裏」

酒井 邦嘉 氏(東京大学) (3 月 19 日)

「脳の言語処理」

[招待論文講演] 3 月 18 日

松吉 俊 氏「否定の焦点情報アノテーション」

松林 優一郎 氏「日本語文章に対する述語項構造アノテーション仕様の考察」

林 克彦 氏「単語並べ替えと冠詞生成の同時逐次処理: 日英機械翻訳への適用」

笹野 遼平 氏「日本語形態素解析における未知語処理の一手法 -既知語から派生した表記と未知オノマトペの処理-

[一般発表 口頭発表] 3月17日～19日 発表件数 139 件

[一般発表 ポスター発表] 3月17日～19日 発表件数 122 件

[一般発表 テーマセッション発表] 発表件数 15

「言語教育と言語処理の接点」「言語探求のための数理的アプローチ」

[併設ワークショップ] 3月16, 20, 21 日

第 11 回 関西機械翻訳勉強会(3月16日)

自然言語処理におけるエラー分析(兼:Project Next NLP 報告会)(3月20日,21日)

今回はオープニング・クロージングを含む前回の形式を踏襲しました。今回は2日間のワークショップがありましたので大会期間が通常より1日多い6日間になりました。

◇ 年次大会優秀賞・若手奨励賞

前回の大会から、参加者の利便性を考慮し、大会期間中に表彰することとしています。このため、年次大会の開催前に全ての一般発表論文(276件)を対象に審査を行い、大会賞を選定しました。大会賞の選考は、全論文に対する計94名の選考委員による1次選考と、1次選考で絞り込まれた31件に対する8名の最終選考委員による選考の二段階で行いました。その結果、以下の通り最優秀賞2件、優秀賞4件、若手奨励賞5件を授賞することとしました。

第21回言語処理学会年次大会優秀賞

■最優秀賞(2件)

C1-3 テンソル分解に基づく述語項構造のモデル化と動詞句の表現ベクトルの学習

橋本和真, 鶴岡慶雅(東大)

A4-1 構文性に基づく関係パタンの意味計算

高瀬翔, 岡崎直観, 乾健太郎(東北大)

■優秀賞(2件)

A3-4 不完全な文の構文解析に基づく同時音声翻訳

小田悠介, Graham Neubig, Sakriani Sakti, 戸田智基, 中村哲(NAIST)

D7-2 第二言語としての日本語版リーディングスパンテストにおける方略の個人差

二口和紀子(名大)

第21回言語処理学会年次大会若手奨励賞(4件)

P4-7 DNN 事後確率系列の言語モデル化に基づく言語識別

増村亮(NTT), Sheri Sever(ウォータールー大), 浅見太一, 政瀧浩和, 阪内 澄宇(NTT)

C4-2 一般二項定理による多項式カーネルの拡張と学習

椿真史, Kevin Duh, 新保仁, 松本裕治(NAIST)

E3-2 評判分析における品詞情報と意味類型情報の有効性比較

岡田正平, 山本和英(長岡技科大)

C7-5 事態間知識における項の対応付け学習

小浜翔太郎(京大), 柴田知秀, 黒橋禎夫(京大/CREST)

◇ まとめ

第21回年次大会は276件の口頭・ポスター発表がありました。発表数は前年度に比べて13件減少しましたが、参加者は大会史上最大の808名となり、非常に活気のある大会となりました。ご参加いただいた皆様、直接大会の運営・企画にご尽力いただいた実行委員会、京都大学の関係者の皆様、プログラム委員会の皆様に厚くお礼を申し上げます。また、29企業様(前年比+3)より協賛を賜りました。ご支援に心より感謝します。なお、今大会は同時期に開催の情報処理学会全国大会と相互後援という形で広報などの連携を図りました。連携にご尽力下さった情報処理学会の皆さまにお礼申し上げます。

5. ニュースレターの発行

2015年には、ニュースレターVol.22 No.1 - No.3の3号を発行し、学会運営、大会案内、大会優秀賞、論文賞、COLING2016開催予定などについて会員への情報提供を行いました。これらのバックナンバーは、学会ホームページでも公開しております。

6. 理事会の開催

計6回の理事会を開催し、入退会会員の承認、事業計画、予算、論文賞選考、学会法人化、年次大会の方針、年次大会優秀賞、関連学会等への協賛等について審議し決定しました。また、会費納入や学会誌作成、ニュースレター発行等の学会運営についても議論しました。

理事会開催:

第101回(2015年1月22日, 国立情報学研究所)

第102回(2015年3月16日, 京都大学)

第103回(2015年5月15日, 国立情報学研究所)

第104回(2015年7月6日, 国立情報学研究所)

第105回(2015年9月11日, 国立情報学研究所)

第106回(2015年11月6日, 国立情報学研究所)

7. 編集委員会

◇編集委員会の会議

2015年は、実際に顔を合わせる編集委員会を1回開催したほか、随時、メール審議の形式で編集委員会を開催し、採否決定の一層の迅速化に努めました。

編集委員会開催:

第93回(2015年9月3日, 国立情報学研究所)

◇英文校正サービスとコーパス化

2015年度の掲載論文について、7件の論文のタイトルと概要の英文校正ならびに3件の英文論文の本文の英文校正を実施しました。また、多数の著者の協力を得て、校正前の英文と校正後の英文を「言語処理学会英文校正コーパス」として管理し、会員の求めに応じて提供しています。

◇英文論文アーカイブ(IMT)への論文掲載

情報関連学会による国際的な電子ジャーナルとしてのIMT(Information and Media Technologies)の第10巻に英語論文2件を提供しました。

◇2015年度論文賞の選考

2015年に出版された自然言語処理22巻1号から5号に掲載された論文14編から相応しい論文を推薦することを目標として、奥村学副編集長が論文賞一次選考委員長、田中久美子(編集担当)理事が論文賞最終選考委員長を務め、それぞれ編集委員を選考委員とする選考委員会(一次選考は21名、最終選考は10名)を編成して選考を実施し、下記の論文を選定しました。

(最優秀論文賞)

タイトル:「Left-corner Parsing for Dependency Grammar」

著者:Hiroshi Noji and Yusuke Miyao

発行号頁:Vol.22 No.4 pp.251-288

(論文賞)

タイトル:「入れ子依存木の刈り込みによる単一文書要約手法」

著者:菊池 悠太, 平尾 努, 高村 大也, 奥村 学, 永田 昌明

発行号頁:Vol.22 No.3 pp.197-217

(論文賞)

タイトル:「リカレントニューラルネットワークによる単語アラインメント」

著者:田村 晃裕, 渡辺 太郎, 隅田 英一郎

◇自然言語処理の電子化

創刊号から 2008 年度までの本誌の全件が, JST の電子アーカイブ事業により無償で電子化され JST のサイト Journal@rchive で公開されています. また, 2009 年度以降の本誌も, 上記 Journal@rchive と一体的に運営されている J-STAGE で公開されており, 新規に出版されたものは三ヶ月後に電子化され公開されます. すなわち, 現在, 創刊号から, 紙媒体で出版後三ヶ月経過した号まで, 常時, 電子的に閲覧可能となっています.

◇論文掲載数および投稿数

2015 年は, 通常号 4 号の発行に加えて, 「エラー分析」(Vol.22 No.5)を出版し, 総計 14 編の論文を刊行しました. 「自然言語処理」への 2015 年の通常論文投稿数は, 昨年 2014 年の 24 編より減少し, 11 編にとどまりました.

8. 共催, 協賛, 後援

以下の会議を共催, 協賛, 後援いたしました.

- (1) 情報処理学会第 77 回全国大会 (後援)
京都大学 2015 年 3 月 17 日~19 日
- (2) 人工知能研究センター設立記念シンポジウム (協賛)
日経ホール 2015 年 9 月 30 日
- (3) 第 12 回ロボット聴覚システム HARK 講習会 (協賛)
早稲田大学 2015 年 11 月 10 日
- (4) 第 2 回 HARK ハッカソン (協賛)
早稲田大学 2015 年 11 月 11 日
- (5) 日本音響学会第 143 回技術講習会「Praat による音声加工と知覚実験の実施法」(協賛)
東京大学 2015 年 11 月 12~13 日
- (6) 人工知能学会 合同研究会 2015 (協賛)
慶應義塾大学 2015 年 11 月 12 日~14 日
- (7) ロボットは東大に入れるか 2015 成果報告会 (後援)
東京大学 2015 年 11 月 14 日

また, 若手研究者への支援活動として, 2015 年 9 月 3 日(木)から 5 日(土)に和倉温泉・ホテル海望で開催された「NLP 若手の会第 10 回シンポジウム」のゴールドスポンサーとなりました.

9. 学会の法人化

学会の法人化に関して, 2015 年 3 月の総会で以下が承認されました.

- 総会で提示した定款をもつ一般社団法人言語処理学会を設立すること
- 一般社団法人言語処理学会の設立後, 旧言語処理学会の財産及び債務及び権利義務の一切を一般社団法人言語処理学会に承継し, 解散すること

総会で承認された内容に従い, 京都地方法務局に法人登録申請を行い, 2015 年 4 月 1 日付で一般社団法人言語処理学会を設立しました. また, 2015 年 5 月に旧言語処理学会の財産を一般社団法人言語処理学会に移管し, 旧言語処理学会を解散しました. これにより, 学会の法人化を完了し, 現在, 本学会は一般社団法人言語処理学会として, 定款(<http://www.anlp.jp/rules/articles.html>)に則り, 運営されています.

第1号議案

言語処理学会 正味財産増減計算書 <※参考資料>

2015年 1月 1日から2015年12月31日まで

(単位:円)

科 目	① 予算額	② 決算(任+法)	③ 任意団体	④ 法人	差異 (①-②)
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	[7,610,000]	[7,682,000]	[1,676,000]	[6,006,000]	[-72,000]
正会員受取会費	(6,160,000)	(6,264,000)	(1,484,000)	(4,780,000)	(-104,000)
正会員当年度	5,800,000	6,008,000	1,324,000	4,684,000	-208,000
正会員過年度	360,000	256,000	160,000	96,000	104,000
学生会員受取会費	(440,000)	(368,000)	(92,000)	(276,000)	(72,000)
学生会員当年度	400,000	348,000	74,000	274,000	52,000
学生会員過年度	40,000	20,000	18,000	2,000	20,000
賛助会員受取会費	(550,000)	(600,000)	(100,000)	(500,000)	(-50,000)
賛助会員当年度	550,000	600,000	100,000	500,000	-50,000
賛助会員過年度	0	0	0	0	0
特殊購読会員受取会費	(460,000)	(450,000)	(0)	(450,000)	(10,000)
460,000	450,000	450,000	450,000	10,000	
事業収益	[9,194,000]	[8,529,015]	[8,069,015]	[460,000]	[664,985]
学術研究事業(年次大会)	(6,514,000)	(7,819,015)	(7,819,015)	(0)	(-1,305,015)
年次大会参加費	3,120,000	4,117,000	4,117,000	0	-997,000
年次大会懇親会費	954,000	802,000	802,000	0	152,000
年次大会協賛・広告	2,440,000	2,900,000	2,900,000	0	-460,000
年次大会助成・補助	0	0	0	0	0
年次大会収益	0	15	15	0	-15
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(2,680,000)	(710,000)	(250,000)	(460,000)	(1,970,000)
論文誌広告料	150,000	60,000	40,000	20,000	90,000
別刷代	2,500,000	650,000	210,000	440,000	1,850,000
雑誌頒布収益	30,000	0	0	0	30,000
雑収益	[3,000]	[64,616]	[49,057]	[15,559]	[-61,616]
受取利息	3,000	3,262	2,211	1,051	-262
雑収益	0	61,354	46,846	14,508	-61,354
寄付金		[20,446,021]		[20,446,021]	[-20,446,021]
経常収益計	16,807,000	36,721,652	9,794,072	26,927,580	-19,914,652
(2) 経常費用					
事業費	[16,678,304]	[10,979,200]	[6,130,835]	[4,848,365]	[5,699,104]
年次大会開催費	(6,438,304)	(5,956,942)	(5,301,285)	(655,657)	(481,362)
年次大会運営サポート費	1,245,324	1,263,319	607,662	655,657	-17,995
受付代行費	866,700	895,536	895,536	0	-28,836
資料作成費(印刷費)	500,000	327,780	327,780	0	172,220
コンファレンスバック代	170,000	167,616	167,616	0	2,384
プログラム委員会費	151,000	195,981	195,981	0	-44,981
年次大会会場費	490,000	352,234	352,234	0	137,766
年次大会人件費	1,000,000	688,000	688,000	0	312,000
年次大会講師謝金等	300,000	366,160	366,160	0	-66,160
論文賞招待旅費	60,000	103,792	103,792	0	-43,792
評議員会等会議費	120,000	138,153	138,153	0	-18,153
表彰関係費	480,000	423,420	423,420	0	56,580
年次大会懇親会費	970,280	973,719	973,719	0	-3,439
実施委員会費	50,000	50,000	50,000	0	0
年次大会雑費	35,000	11,232	11,232	0	23,768
普及啓発事業	(10,240,000)	(5,022,258)	(829,550)	(4,192,708)	(5,217,742)
論文誌印刷費	3,600,000	1,992,101	321,904	1,670,197	1,607,899
論文誌通信運搬費	650,000	556,629	125,935	430,694	93,371
論文誌編集費	1,900,000	1,054,296	133,056	921,240	845,704
論文誌電子化費用	130,000	82,080	15,120	66,960	47,920
編集委員会費	900,000	437,460	97,020	340,440	462,540
編集事務局費	400,000	348,136	64,203	283,933	51,864
特殊購読・雑誌頒布経費	210,000	200,000	0	200,000	10,000
論文誌活性化支援	200,000	180,384	1,140	179,244	19,616
若手研究者等の支援	200,000	100,000	0	100,000	100,000
COLING2016準備	2,000,000	0	0	0	2,000,000
普及啓発事業雑費	50,000	71,172	71,172	0	-21,172
管理費	[4,260,000]	[24,582,860]	[21,723,251]	[2,859,609]	[-20,322,860]
法人設立費用	(600,000)	(468,143)	(0)	(468,143)	(131,857)
総務事務局費	(100,000)	(119,318)	(57,933)	(61,385)	(-19,318)
業務委託費	(2,650,000)	(2,667,600)	(845,100)	(1,822,500)	(-17,600)
学会事務委託費	2,160,000	2,170,800	542,700	1,628,100	-10,800
税理士報酬	490,000	496,800	302,400	194,400	-6,800
会費集金費	(350,000)	(391,260)	(108,271)	(282,989)	(-41,260)
通信運搬費	(150,000)	(139,853)	(61,092)	(78,761)	(10,147)
租税公課	(70,000)	(99,100)	(99,100)	(0)	(-29,100)
振込手数料	(40,000)	(32,090)	(19,346)	(12,744)	(7,910)
HP関連経費	(100,000)	(72,402)	(32,790)	(39,612)	(27,598)
雑費	(200,000)	(147,073)	(53,598)	(93,475)	(52,927)
支払寄付金		(20,446,021)	(20,446,021)		(-20,446,021)
経常費用計	20,938,304	35,562,060	27,854,086	7,707,974	-14,623,756
当期経常収支差額	-4,131,304	1,159,592	-18,060,014	19,219,606	-5,290,896
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外収支差額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-4,131,304	1,159,592	-18,060,014	19,219,606	-5,290,896
一般正味財産期首残高	18,060,014	18,060,014	18,060,014	0	0
一般正味財産期末残高	13,928,710	19,219,606	0	19,219,606	-5,290,896

貸借対照表

2015年5月31日現在

言語処理会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	6,331,646
未収金	1,423,789
前払金	0
流動資産合計	7,755,435
資産合計	7,755,435
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	7,755,435
前受金	0
前受会費	0
流動負債合計	7,755,435
負債合計	7,755,435
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	0
正味財産合計	0
負債及び正味財産合計	7,755,435

財産目録

2015年5月31日現在

言語処理会

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	23,777
預金	普通預金		6,307,869
	ゆうちょ銀行		6,307,869
未収金			1,423,789
流動資産合計			7,755,435
資産合計			7,755,435
(流動負債)			
未払金			7,755,435
流動負債合計			7,755,435
負債合計			7,755,435
正味財産			0

正味財産増減計算書

2015年 1月 1日から2015年5月31日まで

言語処理学会

(単位:円)

一般会計

科 目	決算額	備 考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	1,676,000	
正会員受取会費	1,484,000	
当年度	1,324,000	@8000×662×3/12月
過年度	160,000	@8000×20
学生会員受取会費	92,000	
当年度	74,000	@4000×74×3/12月
過年度	18,000	@2000×7+@4000×1
賛助会員受取会費	100,000	
当年度	100,000	@50,000×8×3/12月
特殊購読会員受取会費	0	
事業収益	8,069,015	
学術研究事業(年次大会)	7,819,015	
参加費	4,117,000	
懇親会参加費	802,000	
年次大会協賛・広告	2,900,000	
年次大会雑収益	15	
普及啓発事業	250,000	
論文誌広告料	40,000	21-6~22-1
別刷り代	210,000	
雑誌頒布収益	0	
雑収益	49,057	
受取利息	2,211	
雑収益	46,846	印税
経常収益計	9,794,072	
(2) 経常費用		
事業費	6,130,835	
年次大会開催費	5,301,285	
運営サポート費	607,662	NLP2015後期分
資料作成費(印刷費)	327,780	プログラム冊子
コンファレンスバック代	167,616	
プログラム委員会費	195,981	発表申込等サポ, 旅費
年次大会会場費	352,234	立看板, 設営
年次大会人件費	688,000	学生アルバイト
年次大会講師謝金等	366,160	
論文賞招待旅費	103,792	
評議員等会議費	138,153	弁当代, スポンス-交流会
受付代行費	895,536	参加登録システム等
表彰関係費	423,420	賞状, 副賞
年次大会懇親会費	973,719	
実施委員会費	50,000	
年次大会雑費	11,232	
普及啓発事業	829,550	
編集事務局費給与	64,203	3月分まで 給与, 旅費
普及啓発事業雑費	71,172	IMT
編集委員会費	97,020	会合費, 旅費
論文誌印刷費	321,904	22-1
論文誌編集費	133,056	
論文誌電子化費	15,120	
論文誌通信運搬費	125,935	
特殊購読・雑誌頒布経費	0	
論文誌活性化支援	1,140	英文校正等の国際化支援

科 目	決算額	備 考
管理費	21,723,251	
総務事務局費	57,933	3月分まで 給与, 旅費
業務委託費	845,100	
学会事務委託費	542,700	1~3月 中西印刷
税理士報酬	302,400	年調, 前期当期決算, 1-3月顧問料
会費集金費	108,271	
通信運搬費	61,092	
租税公課	99,100	法人市民・府民税: 2014年と2015年5ヶ月分
振込等手数料	19,346	
HP関連経費	32,790	
支払寄付金	20,446,021	
雑費	53,598	封筒代等
経常費用計	27,854,086	
評価損益等調整前当期経常増減額	-18,060,014	
評価損益等計	0	
当期経常増減額	-18,060,014	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用		
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	-18,060,014	
一般正味財産期首残高	18,060,014	
一般正味財産期末残高	0	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産期末残高	0	

●上記の通り報告いたします。

言語処理学会財務理事

赤 峯 亨



言語処理学会財務理事

永田 昌明



●監査の結果、上記の結果に相違ありません。

言語処理学会 監 事

浦谷 則好



言語処理学会 監 事

田口 大悟



2015年 8 月 25 日

貸借対照表

2015年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	23,612,672
前払金	215,654
資産合計	23,828,326
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	36,720
前受金	450,000
前受会費	4,122,000
負債合計	4,608,720
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	19,219,606
正味財産合計	19,219,606
負債及び正味財産合計	23,828,326

財産目録

2015年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	80,201
預金	銀行預金		23,532,471
	ゆうちょ振替口座		5,996,209
	みずほ銀行		10,000,389
	ゆうちょ総合口座		7,535,873
前払金			215,654
資産合計			23,828,326
(流動負債)			
未払金			36,720
前受金			450,000
前受会費			4,122,000
前受正会員			3,680,000
前受学生会員			92,000
前受賛助会費			350,000
負債合計			4,608,720
正味財産			19,219,606

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書として記載すべき事項はありません。

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2015年 4月 1日から2015年12月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	備考
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	[6,006,000]	
正会員受取会費	(4,780,000)	(1/1~3/31)×9/12月 + (4/1~12/31)
正会員当年度	4,684,000	@8000×(662×9/12月+89)
正会員過年度	96,000	@8000×12
学生会員受取会費	(276,000)	
学生会員当年度	274,000	@4000×(74×9/12月+13)
学生会員過年度	2,000	@2000×1
賛助会員受取会費	(500,000)	
賛助会員当年度	500,000	@50000×(8×9/12月+4)
賛助会員過年度	0	
特殊購読会員受取会費	(450,000)	
	450,000	@10,000×45口
事業収益	[460,000]	
学術研究事業(年次大会)	(0)	
年次大会参加費	0	
年次大会懇親会費	0	
年次大会協賛・広告	0	
年次大会助成・補助	0	
年次大会収益	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(460,000)	
論文誌広告料	20,000	22-2
別刷代	440,000	22-2~3
雑誌頒布収益	0	
雑収益	[15,559]	
受取利息	1,051	
雑収益	14,508	印税
寄付金	[20,446,021]	言語処理学会からの寄付
経常収益計	26,927,580	
(2) 経常費用		
事業費	[4,848,365]	
年次大会開催費	(655,657)	
年次大会運営サポート費	655,657	NLP2015(4-7月分), NLP2016(前期分)
受付代行費	0	
資料作成費(印刷費)	0	
コンファレンスバック代	0	
プログラム委員会費	0	
年次大会会場費	0	
年次大会人件費	0	
年次大会講師謝金等	0	
論文賞招待旅費	0	
評議員会等会議費	0	
表彰関係費	0	
年次大会懇親会費	0	
実施委員会費	0	
年次大会雑費	0	
普及啓発事業	(4,192,708)	
論文誌印刷費	1,670,197	22-2~5
論文誌通信運搬費	430,694	22-2~5
論文誌編集費	921,240	22-2~5
論文誌電子化費用	66,960	22-2~5
編集委員会費	340,440	会合費, 旅費
編集事務局費	283,933	4月分から給与, 旅費

科 目	決算額	備考
特殊購読・雑誌頒布経費	200,000	
論文誌活性化支援	179,244	
若手研究者等の支援	100,000	
COLING2016準備	0	
普及啓発事業雑費	0	
管理費	[2,859,609]	
法人設立費用	468,143	司法書士, 設立補助業務, 印鑑
総務事務局費	(61,385)	4月分から給与, 旅費等
業務委託費	(1,822,500)	
学会事務委託費	1,628,100	4月～12月
税理士報酬	194,400	顧問料*2万×9か月
会費集金費	(282,989)	
通信運搬費	(78,761)	
租税公課	(0)	
振込手数料	(12,744)	
HP関連経費	(39,612)	
雑費	(93,475)	封筒代, 選挙費用等
経常費用計	7,707,974	
当期経常収支差額	19,219,606	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外収支差額	0	
当期一般正味財産増減額	19,219,606	
一般正味財産期首残高	0	
一般正味財産期末残高	19,219,606	

●上記の通り報告いたします。

言語処理学会財務理事

赤 峯 亨



言語処理学会財務理事

永田昌明



●監査の結果、上記の結果に相違ありません。

言語処理学会 監 事

浦谷則好



言語処理学会 監 事

田口下悟



2016年 2 月 16 日

監査報告書

2016 年 2 月 16 日

一般社団法人 言語処理学会

会 長 隅 田 英 一 郎 殿

一般社団法人 言語処理学会

監 事

浦谷 則好



監 事

田口 大悟



私たちは2015年4月1日から2015年12月31日までの2015年度における
一般社団法人言語処理学会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査
手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会への出席、理事からの報告の聴取、関係書類の
閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、
法人の財政状況を正しくしめしているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上

2016 年度事業計画

1. 運営・活動方針

2016 年度は、論文誌「自然言語処理」の発行・年次大会の開催等の学会が行う事業については、これまでと同等以上のメリットを会員が受けることができるよう、言語処理学会の設立の目的を尊重しつつ進めてまいります。

これらの論文誌や年次大会で発表される研究を広く内外に流通させるために、会員の研究発表を支援することも本学会の重要な役割と考え、活動を進めて参ります。まず、若手研究者による研究発表を支援する活動を行います。さらに、アジア・太平洋地域の関連学会の連合組織 AFNLP の活動への協力に加え、言語処理分野の大規模な国際会議である COLING を大阪で開催いたします。

2. 会誌の発行

- ・ 第 23 巻第 1 号 (2016 年 1 月中旬発行予定, 通巻 104 号)
 - ・ 第 23 巻第 2 号 (2016 年 3 月中旬発行予定, 通巻 105 号)
 - ・ 第 23 巻第 3 号 (2016 年 6 月中旬発行予定, 通巻 106 号)
 - ・ 第 23 巻第 4 号 (2016 年 9 月中旬発行予定, 通巻 107 号)
 - ・ 第 23 巻第 5 号 (2016 年 12 月中旬発行予定, 通巻 108 号)
- 第 1 号は「エラー分析」特集号(2 分冊の 2 冊目)となります。

3. 第 22 回年次大会の開催

日時: 2016 年 3 月 7 日(月)～3 月 11 日(金)

会場: 東北大学 川内北キャンパス

3 月 7 日(月) チュートリアル

3 月 8 日(火) 本会議 第 1 日

オープニング

招待講演

3 月 9 日(水) 本会議 第 2 日

招待論文

懇親会

3 月 10 日(木) 本会議 第 3 日

招待講演

クロージング

3 月 11 日(金) ワークショップ

ワークショップ「言語処理の応用」

ワークショップ「論文に書かない(書けない)自然言語処理」

4. ニュースレターの発行

原則として、前年と同様の回数と内容で発行予定です。学会のメーリングリストを通じて配布します。これらは、学会のホームページにバックナンバーとして公開します。

5. 会議

◇社員総会

2016 年 3 月の年次大会に併せて、2016 年度第 1 回会合を開催します。理事・監事の選任、予算・決算、学会全体の活動の活性化に向けた施策、関連する研究分野との交流の促進などについて審議、承認します。

◇理事会

昨年度同様に 6 回程度開催します。論文等の電子的公開、年次大会の開催、他学会との連携などについて審議します。

◇編集委員会

編集委員会は、メールによる審議をベースとし、これまで通りの効率的な運営に努めます。会誌をより活性化し、会員にとってさらに魅力的なものとするために、論文の投稿促進施策や、新たなコンテンツの企画などを継続的に検討します。

6. COLING2016 の開催

本学会は, ICCL (International Committee on Computational Linguistics, <http://nlp.shef.ac.uk/iccl/>)と連携しながら, Coling (International Conference on Computational Linguistics)を 2016 年 12 月 11 日から 16 日の日程で, 大阪国際会議場(中之島)で開催します. Coling は 1994 年に京都で開催されて以来の久しぶりの日本開催ですので, 言語処理学会としても是非盛り上げていきたいと考えています. ニュースレターやホームページ (<http://coling2016.anlp.jp/>)等で, 逐次, 詳細情報を提供しますので, ご注目ください.

以下のように, 重要な日程が決まっております.

2016 年 7 月 15 日: 論文投稿締切(Paper submission due)

2016 年 9 月 19 日: 採否連絡予定(Notification)

2016 年 10 月 10 日: 最終原稿締切(Camera-ready due)

是非, 論文を投稿ください.

第4号報告

言語処理学会 収支予算書(案)

2016年 1月 1日から2016年12月31日まで

(単位:円)

科 目	2015予算額	2015決算予測	2016予算案	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[7,610,000]	7,754,000	[7,130,000]	
正会員受取会費	(6,160,000)	6,320,000	(5,800,000)	予想会員数 785-20+8=773
正会員当年度	5,800,000	6,056,000	5,800,000	@8,000円×725名(94%)
正会員過年度	360,000	264,000	0	@8,000円×0名
学生会員受取会費	(440,000)	384,000	(280,000)	予想会員数 98-24+24=98
学生会員当年度	400,000	348,000	280,000	@4,000円×70名(70%)
学生会員過年度	40,000	36,000	0	@4,000円×0名
賛助会員受取会費	(550,000)	600,000	(600,000)	1口50,000円×12口
賛助会員当年度	550,000	600,000	600,000	
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(460,000)	450,000	(450,000)	
特殊購読会員当年度	460,000	450,000	450,000	
特殊購読会員過年度	0	0	0	
事業収益	[9,194,000]	8,529,015	[9,959,000]	
学術研究事業(年次大会)	(6,514,000)	7,819,015	(7,734,000)	
年次大会参加費	3,120,000	4,117,000	4,030,000	
年次大会懇親会費	954,000	802,000	924,000	
年次大会協賛・広告	2,440,000	2,900,000	2,600,000	
年次大会助成・補助	0	0	180,000	
年次大会収益	0	15	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(2,680,000)	710,000	(2,225,000)	
論文誌広告料	150,000	60,000	100,000	
別刷代	2,500,000	650,000	2,125,000	85,000円×25本=212.5万円
雑誌頒布収益	30,000	0	0	
雑収益	[3,000]	50,108	[3,000]	
受取利息	3,000	3,262	3,000	
雑収益	0	46,846	0	
経常収益計	16,807,000	16,333,123	17,092,000	
(2) 経常費用				
事業費	[16,678,304]	11,005,740	[17,006,636]	
年次大会開催費	(6,438,304)	5,956,942	(6,696,636)	
年次大会運営サポート費	1,245,324	1,263,319	1,249,538	
受付代行費	866,700	895,536	1,032,298	
資料作成費(印刷費)	500,000	327,780	400,000	
コンファレンスバック代	170,000	167,616	170,000	
プログラム委員会費	151,000	195,981	248,000	
年次大会会場費	490,000	352,234	908,300	
年次大会人件費	1,000,000	688,000	800,000	
年次大会講師謝金等	300,000	366,160	300,000	
論文賞招待旅費	60,000	103,792	100,000	
評議員会等会議費	120,000	138,153	140,000	評議員会、スポンサー朝食会
表彰関係費	480,000	423,420	200,000	賞金16万(最優秀3万,優秀2万,若手1万)+賞状等4万
年次大会懇親会費	970,280	973,719	1,088,500	
実施委員会費	50,000	50,000	50,000	
年次大会雑費	35,000	11,232	10,000	
普及啓発事業	(10,240,000)	5,048,798	(10,310,000)	
論文誌印刷費	3,600,000	1,992,101	2,500,000	年間25本と想定
論文誌通信運搬費	650,000	551,789	700,000	封筒代5万円を追加
論文誌編集費	1,900,000	1,054,296	1,500,000	
論文誌電子化費用	130,000	79,360	110,000	
編集委員会費	900,000	471,560	390,000	会合費、旅費、他
編集事務局費	400,000	348,136	400,000	編集事務局給与・旅費
特殊購読・雑誌頒布経費	210,000	200,000	210,000	
論文誌活性化支援	200,000	180,384	200,000	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	0	0	150,000	新設:論文誌の優秀賞の表彰費9万円+賞状等6万円
若手研究者等の支援	200,000	100,000	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	2,000,000	0	4,000,000	遅くとも2017年1月末には振込金額を確定
普及啓発事業雑費	50,000	71,172	50,000	IMT分担金等
管理費	[4,260,000]	4,132,064	[3,547,700]	
法人設立費用	600,000	468,143	0	司法書士 25万円、管理事務費用 20万円、印鑑作成1万円、会合・旅費10万円、雑費4万円
代議員選挙費用	0	0	0	新設:2017年度以降、2年ごとに必要
総務事務局費	(100,000)	115,128	(100,000)	総務事務局給与・旅費
業務委託費	(2,650,000)	2,667,600	(2,655,200)	
学会事務委託費	2,160,000	2,170,800	2,170,000	中西印刷(株)委託費
税理士報酬	490,000	496,800	400,000	2015年は法人化により決算が2回必要(+10万円)
司法書士報酬	0	0	85,200	新設:理事の変更のため登記が必要(11/15見積書)
会費集金費	(350,000)	392,302	(400,000)	封筒代5万円を追加
通信運搬費	(150,000)	137,578	(100,000)	
租税公課	(70,000)	99,100	(52,500)	法人市民税・住民税 (新法人2015年4-12月 52500円)
振込手数料	(40,000)	32,738	(40,000)	
HP関連経費	(100,000)	72,402	(100,000)	
雑費	(200,000)	147,073	(100,000)	封筒代10万円を論文誌通信運搬費と会費集金費へ
経常費用計	20,938,304	15,137,804	20,554,336	
当期経常収支差額	-4,131,304	1,195,319	-3,462,336	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-4,131,304	1,195,319	-3,462,336	
一般正味財産期首残高	18,060,014	18,060,014	19,255,333	
一般正味財産期末残高	13,928,710	19,255,333	15,792,997	

第2号議案

新任理事候補者

本総会終結の時をもって理事全員が退任となりますので、理事の選任をお願いします。

役員名	氏名	所属
理事	徳永 健伸	東京工業大学
理事	佐藤 理史	名古屋大学
理事	奥村 学	東京工業大学
理事	乾 健太郎	東北大学
理事	宮尾 祐介	国立情報学研究所
理事	加藤 恒昭	東京大学
理事	渡辺 日出雄	日本 IBM
理事	中野 幹生	HRI-JP
理事	山本 和英	長岡技術科学大学
理事	関根 聡	ニューヨーク大学
理事	荻野 紫穂	武蔵大学
理事	永田 昌明	日本電信電話株式会社
理事	落谷 亮	富士通研究所
理事	駒谷 和範	大阪大学
理事	河原 大輔	京都大学
		(以上 15 名)

第3号議案

新任監事候補者

本総会終結の時をもって監事全員が退任となりますので、監事の選任をお願いします。

役員名	氏名	所属
監事	赤峯 享	日本電気株式会社
監事	江原 暉将	
		(以上 2 名)

2016 年度役員構成予定

役員名	氏名	所属
理事(会長)	徳永 健伸	東京工業大学
理事(副会長)	佐藤 理史	名古屋大学
理事(編集委員長)	奥村 学	東京工業大学
理事(編集担当)	乾 健太郎	東北大学
理事(編集担当)	宮尾 祐介	国立情報学研究所
理事(事業担当)	加藤 恒昭	東京大学
理事(事業担当)	渡辺 日出雄	日本 IBM
理事(事業担当)	中野 幹生	HRI-JP
理事(事業担当)	山本 和英	長岡技術科学大学
理事(渉外担当)	関根 聡	ニューヨーク大学
理事(渉外担当)	荻野 紫穂	武蔵大学
理事(財務担当)	永田 昌明	日本電信電話株式会社
理事(財務担当)	落谷 亮	富士通研究所
理事(総務担当)	駒谷 和範	大阪大学
理事(総務担当)	河原 大輔	京都大学
		(以上 15 名)
監事	赤峯 享	日本電気株式会社
監事	江原 暉将	
		(以上 2 名)
顧問	長尾 眞	京都大学名誉教授
顧問	飯田 仁	東京工科大学名誉教授
顧問	辻井 潤一	産業技術総合研究所
顧問	島津 明	北陸先端科学技術大学院大学名誉教授
顧問	中川 裕志	東京大学
顧問	石崎 俊	慶應義塾大学名誉教授
顧問	橋田 浩一	東京大学
顧問	中岩 浩巳	名古屋大学
顧問	隅田 英一郎	情報通信研究機構
		(以上 9 名)

会誌編集委員会 2016－2017 年度		
編集委員長	奥村 学	東京工業大学
副編集委員長	乾 健太郎	東北大学

第5号報告

2016 年度代議員構成

2014－2017 年度代議員		2016－2019 年度代議員	
秋葉 友良	豊橋技術科学大学	阿辺川 武	国立情報学研究所
石川 開	NEC	出羽 達也	(株)東芝
内山 将夫	情報通信研究機構	岩倉 友哉	(株)富士通研究所
大熊 智子	富士ゼロックス	内山 清子	湘南工科大学
渋谷 英潔	横浜国立大学	呉 鍾勲	情報通信研究機構
建石 由佳	国立情報学研究所	後藤 功雄	NHK 放送技術研究所
塚田 元	豊橋技術科学大学	小林 義行	(株)日立製作所
坪井 祐太	日本アイ・ビー・エム株式会社	小町 守	首都大学東京
鶴岡 慶雅	東京大学	相良 美織	株式会社バオバブ
徳久 雅人	鳥取大学	高梨 克也	京都大学
丸山 岳彦	国立国語研究所	高村 大也	東京工業大学
森 信介	京都大学	土屋 雅稔	豊橋技術科学大学
森元 逞	福岡大学	西川 仁	東京工業大学
山口 昌也	国立国語研究所	橋本 泰一	LINE 株式会社
吉田 稔	徳島大学	東中 竜一郎	日本電信電話株式会社
吉村 賢治	福岡大学	村田 稔樹	沖電気工業株式会社
ジェプカ ラファウ	北海道大学		
計17名		計16名	